

へっプロデューサー、今なら誰もこないから自分が相手になるぞ

日差し眩しい季節での合宿、大舞台に向けての練習も大詰めの中で、
いくらプロデューサーといえど男子、周りは女性だらけで気が気じゃない事も…
そんな事情を知ってか知らずか彼女は無邪気にプロデューサーの前でゆっくり脚を開いてみせた

…なにか企んでるとかそういう事じゃないよな？

何言ってるんだプロデューサー

自分、プロデューサーの役に立ちたいんだ！
だから我慢しなくていいんだぞ



じゃ、じゃあ…

今すぐ襲い掛かりたい衝動を抑えゆっくりハイフパンツに手をかけ静かに脱がす

…こんなところ誰かに見られたらタダじゃ済まないな

あんっ

性器が露に見え始めた時に小さな声が漏れた
小悪魔的に誘惑してた彼女もさすがに恥ずかしいようだ



どうプロデューサー、綺麗でしょ？
プロデューサーがずっと我慢してるの自分、知ってるんだからね

さすが響、俺の視線に気付いていたわけか

へーん！春香のお尻とか見とれてたもんねプロデューサー
自分じゃ不満かもしれないけどきつと気持ち良さなら誰にも負けないさー

不満なもんか、ここまで来たら最後まで付き合ってもらおうぞ



あんっ
いいいきなり激しすぎるぞプロデューサー

小さな身体らしく膣内はきつく締め付け
柔肉がしつかりと包み込んでくる感覚に腰を動かさずにいられない
突くたびに愛液が溢れ出し彼女は完全にメスの顔になっていた

さすが響、完璧な締め付け具合だ
このまま最後までイクぞ

へへへっ…じ、自分カンペキだし…
な、なんくるないさー



もープロデューサーまるで獣みたいだったぞ

だったら扱い方は容易いだろう
でもホントに助かったよ

へっつプロデューサーの為ならこれぐらいなんくるないさー
これからも自分でいいなら相手してあげるからね

日差し眩しい季節、暑く蒸した部屋で半裸状態の二人は談笑していた



ほらほらプロデューサー！早く早く！こっちですよ

慌てるなよ真

時間はたっぷりあるんだから

わく

わく

うっず

うっず

コンサートを無事終えてシャワーで汗を流すためこの場所にいるのだが
ステージでの興奮が収まらぬ彼女は俺をここまで引つ張り込んできた
秘部を露にしこちら尻を突き出した彼女に恥はかかせられない



ああつプ、プロデューサーのおちんちんがボクのアソコにフレンチキスをしていますよ！
まるで少女漫画みたいだ…これ、夢じゃないですよね！

今時の少女漫画は凄いな
でもここからは成年誌の時間だ
思いつきりいくからな

はいっ！ビシバシお願いします！



はあっあんっあっん

人気の無い浴室に真の可愛らしい喘ぎ声が響く
本人は我慢してるつもりだが腰を突く度に駄々漏れだ
そしてこちらをじっと見つめる瞳が物語っているようだ
このまま続けてくれとそして膣内を出してくれ…と

大丈夫か

はっはい…ボクの事はいいですから構わず最後までっ、続けてください

ズンッ
ズンッ

みちる

ひゃうっ

はああっ!

プ、プロデューサーのがいつぱい…流れ込んできてるのがわかります

真の引き締まった贅肉が二層締め付けてきては我慢できるはずもない
しばし絶頂に痙攣する乙女の身体を楽しむとしよう



はあ、はあ、ありがとうございます御座いましたプロデューサー
おかげでスツキリできました…

それは良かった

憑き物が落ちたような顔をした真はいつものステージで魅せるアイドルの顔だ
もつともどちらにも彼女に違いないのだが

俺はお前達のプロデューサーだからな

トップアイドルになるまでしつかり相手してやるから覚悟しろよ

あ、あのプロデューサー
もし良かったらまた…相手してくれませんか？
ボク、我慢できそうにないです

へへっやーりい！こちらこそお願いします！

グクッ
グクッ



構わないと言ってもこちらの言葉に耳を傾けず
日頃のお礼がしたいと押し倒されてしまった
こんな股間近くにアイドルが詰め寄る状況もなかなかないので妙に焦る

むい、駄目ですよプロデューサーさん
今日の私はやる気なんですからね
緊張をほぐすマッサージをしますから、早く全部脱いでくださる

おい、プロデューサーさんとっても大きいです
これはかなり凝ってますね、いけませんよ

こんなにまじまじと自分の性器を見つめられる恥ずかしさと
女性に気持ち良くしてほしいという期待感でガチガチに膨張していた
残念だがここは彼女に従おう



どうですか、気持ち良いですか？
ちゃんとしこしこしてあげますから動いちゃ駄目ですからね



自分の手より一回りも小さい細い手で扱われる感覚は新鮮で
彼女の息遣いがペニスまで届きそれがまた心地よい欲情を誘う
まるで子供扱いされてるようでむしろ痒いけど快感には勝てない



アハハ

アハハ

アハハ

アハハ

きゅん!!?

ありがとう美也
上手だったよ

ふふ、褒めてもらっちゃいました
失敗しなくて良かったです

それにしてもプロデューサーさんの精液、とってもおいしいです
…あ、これをピザのトッピングにして新商品にしては…
駄目なんですか？ そうですか？



今日は珍しく事務所には俺とやよいと社長の三人だけ
相変わらずやよいは事務所の掃除に励んでいたが
今は俺のイチモツを綺麗にしてくれている

そうそう、上手いぞやよい

社長室にいる社長に聴こえたらまずいから小声で褒め称える
やよいの暖かい口に包まれたイチモツは唾液まみれで容赦なくガチガチに膨れ上がり
それを小さな舌が生懸命絡み付けてこのままずっとこうしていたい気分になる



ぶふっ!?

只でさえ口いっぱい俺のイチモツを咥えてるのに更に精液が流れ込んできて
流石に彼女の小さな回から溢れ出してきた
我慢しようにもその柔らかく小さな手で握られ射精は止まる気配を知らなかった

しゅっしゅっ
しゅっしゅっ
しゅっしゅっ



んぐ…くっくっじゅぷっ

ありがとうな、やよい

ガッ

んぐっ

彼女は健気に俺の精液を飲み込みそのまましゃぶるのを続け綺麗にしてくれた
こうして静かに俺のイチモツのお掃除は終わった
気付かれないかとハラハラした分興奮と彼女に対する感謝は今まで以上だった



あ…あの、本当にこんな場所で始めてしまっているのでしょうか？

今はまだリハの段階でスタッフもいませんししばらくは大丈夫ですよ
それともやはり迷惑でした？

いいえっ決してそんなことは…

豊満な肉体とは相反するラフタイムスクールの卑しいミスマッチさに我慢できなく
まるでクラスメイトと教室でセックスしてるかのような現場と
大人しいあずささんに大股を広げさせているのがまた興奮を二段と引き立てた

ッ
ッ
ッ

きゃあつ！ あん

下品に脚を広げたまま甘い声を出し

俺は今まで我慢してた分を彼女の膣内にぶち込む

生地の上からもわかる胸の柔らかさと温かさに幸せを感じながら

このまま時が止まればいいなと神に願った



あ、あのプロデューサーさん…

すみません、あずささん…こんな無茶なお願いをしてしまって

いえ、いいんです…こんな場所で制服着てエッチするなんて
まるで若返ったようで
とっっても楽しかったです
それに…相手がプロデューサーさんなら尚更…

教室の真ん中で事が終わったにもかかわらずどうしても離れたくなくて
しばらくあずささんにピッタリと密着しその柔らかい身体を堪能していた
そして彼女も黙ってその一時を共に過ごしてくれていた

グ
グ
グ

プロデューサー、こうでしようか？

そうそう、そのまま腰をこっちに突きたてて

ステージの真ん中で四つんばいになり下半身をこっちに突き出してる様は
客席から見たらさぞかし過激だろう
この身体を今から自分のものに出れると思うと意識せずとも下半身は元気になっていた



さすが貴音、お尻の穴まで綺麗だ

あ、あのそんなに凝視されるといささか戸惑ってしまいます

いつもは高貴な彼女が恥じらいを隠せず誰にも見せたことのない陰部を俺だけに曝け出している
こんな境遇は滅多にないだろうと彼女の言葉も聞き入れずにまじまじと見つめていた



ふふ、今からあなた様と性交なされると思うところこの舞台に立つより緊張してしまいます

その割には楽しそうに笑っているじゃないか

…それはお相手があなた様だから、ではないでしようか
覚悟は出来ております…いつでも始めてください



あんっあっもっどもっど突いてください

膣肉がしつかりと俺のに絡みつき愛液たっぷりの性器は突く度に淫乱な音を立てる
もつとと善がる彼女の乱れる様はとでも美しかった
しばらく大きな尻肉が腰を打つ音だけがこのステージで響き渡っていた

ズッ
ズッ
ズッ



んっ…っ！

深く突き刺し根元まで膣内に包まれた陰茎はビクつきながら彼女の膣内に射精する
言葉をかみ殺しながらも絶頂にその身を震わせる

ビクッ
ビクッ



はあ、はあ、幸せな一時というのは儚いものです
あなた様とせつかくひとつになれたというのにもう終わりなのですか

貴音の締め付けが凄くて我慢できなかつたよ
でも貴音が望むならこれからいくらでも相手してあげるから

ふふ、まさかそのような言葉をいただけるとは…
私ばかり幸せを頂いてよろしいのでしょうか

そう言っていると銀髪の女王は静かに微笑んだ

ドクン
キーン
きん



お疲れ様ですプロデューサー
もうこんな仕事はこりごりですからね

グラビアの収録を終えたプロデューサー兼アイドル
本人は否定してもその美貌と熱意は他のアイドルも引けを取らない

凄く良かったぞ
きつと良いものが出来るだろう

もうやめてくださいよ
褒めたって何も出ませんよ

いや、本当だって
それで…あまりに見とれちゃってもう我慢できないんだ…

え？

…もう、またですか
まったくプロデューサー殿の精力には参りますよ
時間もそんなにない事ですから、ちやつちやつと済ませちやいませよ

ありがとう

礼はいいですからプロデューサーも早く脱いでください
私だけじゃ恥ずかしいですよ



股を広げ露になった下半身、その局部はすでに濡れていた

こ、これはその…だって、私がグラビアの仕事する度にせがむものですから
今日ももしかしたら…もう！ そんな目で見ないでくださいよ

いや、嬉しいんだよ俺は
こんな期待されちゃ男として頑張るしかないだろ

もう違いますっつてば！
なんでもいいですから早く射れてくださいよ



はう、だ、駄目…こんな、早くイッちゃう

いつもは手厳しい鬼軍曹もこの二時だけは歳相応の女の子だ
露になった下半身の体温、柔らかく締め付けてくる肉壺、彼女の甘い喘ぎ声
ビジネス面でも良きパートナーだが肉体関係においても最高のパートナーだ

律子、このまま膣内ですぞ

アッ
アッ

はい……っでふええっ!?

彼女と同時に絶頂を向かえベッドの上で二人して身体をビクつかせていた
小柄な彼女の小さな膣は俺の精液ですぐに満杯になるだろう
それでも構わず大量の精液を射精し続けた

ドク
ドク



もうプロデューサー殿…

えつちする時は外に出す約束じゃありませんでした？
ちゃんと避妊しないと、そのうち責任を取ってもらいますからね

律子と添い遂げれるなら俺はいつだって責任を取る覚悟はあるよ
こんな可愛くて頼れる女性はなかなかいないからな

もうすぐそうやって誤魔化さないでくださいよ！

でも今の話、覚えておきますからね
これからもよろしくお願ひしますよプロデューサー殿

ドクン
ガクン

仕事の合間に休もうと提案されたのはいいもの
行き着いた先はホテルの二室
さすがにまずいと思つたが彼女は淡々と下着を脱ぎベッドに腰掛けた
少ない休憩時間、せつかくだしこで彼女と秘密の二時を楽しもう

ほら、次の仕事まで時間ないんだし
確認とかいらからないからどんどん続けていいよ
プロデューサーに抱かれるの、嫌じゃないし

ズン
ズン
ズン

きゃああっ

淡白な態度とは裏腹に可愛らしい悲鳴と共に膣圧が強まる
彼女も同時に絶頂を迎えたようだ
あまり素直な感情をこちらに向けてくれないがこうして交わらせてくれるのは
彼女なりの表現なのだろうか

ううう、まだ出てる…もう、プロデューサー出しすぎ

ビュッ
きゅん
きゅん

ありがとうのおかげでスッキリできたよ

きゅ、急に何…

…あの、私、愛想ないからあんまり伝わらないかもしれないけど…
いつも感謝してるし、迷惑じゃなければいつでも抱いてくれてもいいって思ってる

凜の気持ちは良くわかったよ
これからも上を目指して一緒に頑張ろうな

うん…こんな気持ちになったのもプロデューサーが私に魔法をかけたから…
だから私はまだ走り続けたい、プロデューサーと一緒に

グッ
グッ
グッ

誰もいない教室
今ここでアイドルとプロデューサーの特別授業が始まる

どうしたんだ未来、いつもの笑顔はどうした？

うん

だ、だってこんな格好恥ずかしいですよ
それにプロデューサーさんジューッて見てるし…心臓が爆発しちゃいそうですよー

未来に見とれてるだけだよ

お尻の穴も性器もすごく綺麗だし自信もついでいいぞ！

も、もてませんよー



んんっ…

まずは亀頭で小陰唇あたりを擦りつけほどよくほぐしていると
すぐに愛液が亀頭を濡らしてくる…準備は万端のようだ

射れるぞ…

目を閉じ力んだ表情を崩さない彼女に聴こえたかはわからないが
ゆっくりとビダの奥にある膣口までペニスを挿入する
ここまで来ればあとは前へと進むだけだ



うう……あ、あれ……なんだかすつごく気持ち良いかもっ
プロデューサーさんの固くて太いのが
股の中をこすつてると変な気分になっちゃいます

いつもの笑顔が戻ってきたな
もつと続けるぞ、いいな

はい！ えへへ
こんなに気持ち良いなら恥ずかしくても我慢できそうです

ズッ
ズッ
ズッ

きゃああっ

汚れを知らない無邪気な笑顔と絡みつく膣圧の快感にたまらず少女の膣内に射精した腰を尻肉に密着し最後の一滴まで残さず彼女の体内に精液を注入する教室の真ん中でまだ幼さの残る少女に種付け…
少しばかりの罪悪感と大いなる快感の波が襲い掛かる



すまん、つい膣内です出してしまつて…

出しちゃつたって事は、とっても気持ちよかつたって事ですよね？

でへへ♪なんだか嬉しいかもー

花ティッシュちゃんに教えてもらった通り勇氣出して良かったです！

ド
ビ
ッ
ッ

あ、あのつこれからもいろいろ教えてください
私もつともーつとプロデューサーさんや劇場の皆と一緒に輝きたいから！ えへへっ



うっきやー☆
にゃはー頭の巾がハピハピだわー!

おつぁーしゃー☆
Pちゃんとおつちたのすい☆
もつときらりのおつぱい揉んでえ
あーPちゃんの顔見るとニヤけるーヤバーイ☆

絶頂を向かえ少ししおらしくなった彼女の身体を弄りながら
余韻に浸っていると彼女は薄っすら涙を浮かべる瞳でこちらを見つめながら呟いた

きらり、Pちゃんと一緒にならずつとハピハピだゆ…うえへへ



にひひっ♪ どう？ スーパーアイドル伊織ちゃんのおまんこは♪
あんたの粗ちんじや私を満足させられるか不安だけど相手してあげるんだから
目一杯感謝しなさいよ

男の浴室に押しかけてきた泡姫、じゃなくて竜宮小町
彼女に甘い誘惑を仕掛けられ誰が避けられようか
衣装を着たまま乗りかかり見事に男根を根元まで飲み込んだ
小さな身体ゆえに膣内はキツく締め付け小柄な体重が押し掛かるのも心地よかつた



あうっ！

その小さな身体を捕まえ、まるで性欲処理の人形に注ぎ込むかのように荒々しく射精した
強気な彼女も一瞬だけ見せたことのない可愛らしい一面を覗かしてくれた



あらもう終わっちゃったの？お疲れ様♪
もし仕事に疲れちゃったり嫌な事があつたらまた相手してあげるから
この伊織ちゃんのために頑張るのよ
いいわね

なるほど、俺を労う為にわざわざ来てくれたのか

当たり前じゃない、私のプロデューサーはあんたなんだからしつかりしなさいよね
頑張つたらちやんと褒美あげるから…ね♪にひひ♪

ぐりー
ぐびー

開演目前のステージ裏
そこではアイドルの可愛いわがままで腰を振るプロダンサーの姿があった

まったくなんでこんな時に発情するんだよ

んーミキもわかんないの
ハニーの顔見てたらアソコが寂しくなっちゃったのかな
ハニーが頑張ってくれたらミキも頑張れる気がするの

ズッ
ズッ

あんっ！ハニーの熱いのが…っ！っ！っ！

絡みつく愛液のせいにかきつく締め付ける柔肉のせいか
魔性の少女の小さな膣内に精液を勢いよく注ぎ込む
絶頂に震えるその身体はより一層美しく魅惑の悪魔に見えた

んっ
んっ
んっ

キスん♡

んっ
んっ
んっ

あふう
ハニーのおちんぽさん相変わらず元気いいの〜♪
カンキもつとつとハニーとつぱらえつちな事したいな

それにはまず今回のステージを大成功させなきゃな

うん、わかってるの！ 帰ってきたらまたしようね♪ ハニー♪

ド
ゴ

フレール♪フレール♪ガンバだよ兄ちゃん！
まだ出しちゃ駄目だかねっ♪

俺の上で踊ってる可愛いチアリーダーが声援を送るなか
気を抜くとすぐに射精してしまいそうな隆圧に贅沢な我慢をしていた
しかし亜美もいつのまにこんなに魅力的な肢体になったのか

亜美、もうそろそろ限界かも…

しようがないなー
んじゃ今日はスペシャルだいつか出血サービスって事でなか出しオツケーだよ
じゃんじゃん出しちゃつてよ兄ちゃん！



んっふっふっ

セクシーに成長した亜美と真美のからだを兄ちゃんに味わってもらおう大作戦
略して兄ちゃん最終絶叫計画！大成功だね♪
あとで真美に報告しなさいや

もしまた亜美のセクシーボディが恋しくなったらいつでも呼んでね♪
そのときは特大のシュークリームを用意するの忘れちゃ駄目だかね
よろよろー♪



んっふっふっ♪

どうどう兄ちゃんー真美、ちよーセクシーっしょー？

もう兄ちゃんのビンビンなおちんちんが欲しくて

ガマンできないカラダになっちゃったぽいよっ

どこでそんなの覚えてくるんだよ

しかし目の前で下品に脚を広げたその身体は性交するには十分の肉付き
いつもの小悪魔的な笑顔に導かれるまま大きく反り上がったそれを真美の柔肌近づけた



んっ…

恐いか？ 真美

ううん、真美は…大丈夫だから射れていいよ…兄ちゃん

ググッ

龟头がヒダを押しわけ真美の小さな膣に入ろうとしている
さすがに少し緊張しているのかいつもの元気はなくなりおらしくなっているが
膣口からは甘い蜜が垂れだしこちらを迎え入れる準備は出来ているようだ



はう…ん、兄ちゃん…真美のおまんこ、気持ちいい？

ああ、当たり前だ
最高にセクシーになったな、真美

うん、真美も兄ちゃんのおちんちんが
おなかの中をこする度に頭の中がフットーしそうなくらい気持ちいいよ
真美のおまんこ独り占めしていいからどんどん続けてよ



膣内に出すぞ！

はうっ！
うあうあー兄ちゃんのスけべなせーえきが
ドピュドピュって真美のなかに入ってくよー



兄ちゃんのおちんちんまだ真美のおまんこの中でビクビクいつてるよー

それだけ気持ち良かったってことだ

んっふっふっ

セクシーに成長した真美と亜美のからだを兄ちゃんに味わってもらおう大作戦
略して兄ちゃんヤルマゲドン計画ー大成功だね♪
あとで亜美に報告しなきゃ

もしまた真美のアッパン大サービスが欲しくなったらいつでも呼んでね♪
そのときは特大のプリンを用意するの忘れちゃ駄目だかね
よろよろー♪

んっふっふっ



そうそうそのままお尻を上げて

こ、ことうですか？

うう、やっぱり恥ずかしいですよプロデューサーさん

大丈夫だ 春香のヒップは世界だって狙える！
とても素敵だぞ

春香の自宅に招かれて

制服を脱ぐ暇もないまま良い雰囲気...

女の子の部屋にいるだけでドキドキなのに

女子特有の良い匂いとこちらに向けて無防備にさらけ出してる下半身が

余計に興奮をアシストしている



あ、あのまだシャワー浴びてなくてその…
や、やっぱり汗を流してからの方が
そんな勿体無い事しなくていいよ
それに全然匂わないし綺麗だよ自信持つて

うう、こんな事するのプロデューサーさんだけですからね





それじゃ春香の美味しそうな尻を頂こうかな

えっ？あ、あのそっちは違っ…っ



うぐっ!?
プププデューサーさん、お腹が苦しいです…

もうちよつと我慢してくれ
それにしても思ったとおり最高の尻だ
俺のちんこに食いついて離さないぞ

ふあつ?

いつも春香には美味しいお菓子で
お腹いっぱいにしてもらってるからな
今日は俺の精液で春香を満腹にさせてやるぞ!

ふあつ
ふあつ
ふあつ

ふあつ
ふあつ

ふあつ



…もう、プロデューサーさんひどいです
お尻の穴に射れるなんて…なんでいじわるするんですか
す、すまん…

春香の大きなお尻に見とれて我を忘れたというか
でも最高に気持ちよかったのは間違いない
今度何かお詫びをするから機嫌直してくれないか

プ、プロデューサーさんが気持ちよかったって言うならいいですけど
でも今度からはちゃんとお願いしてくださいね
じゃないともうケーキ焼いてきてあげませんから



や、やっぱりプロデューサーさんにアソコを見られるのって
すっごく恥ずかしいです…

何度見ても綺麗だよ
これがトップアイドルのマンコだと思うと感動するよ



きゃい

まずは準備運動をしないとな

膨張した男根で春香のクリトリスを擦り付ける
彼女も気持ち良いのかこれから始まる情事を期待しているのか
時折ビクつきながら俺の男根をずっと見つめていた

春香、そろそろいいよな

は、はい…プロデューサーさん…お願いします

クチュ



はあっあん
プロデューサーさんのっお、おっきい…っ！

春香の性器は俺の男根をしつかりと包み込むと突く度に愛液が溢れ出し
絡みつく膣肉の温かさと締め付け具合がますます欲情をかき立てた

はあ、ああっゆ、夢なんかじゃないですよねプロデューサーさん

幸せそうな彼女の顔を見てたら早く終わらせるのが勿体無く
気合を入れて一秒でも長く春香とひとつになれるよう腰を振り続けた

春香、もう…そろそろ限界かもっ

な、なかに…っプロデューサーさん！このまま膣内に出してください！

グッ
グッ
グッ

彼女の望む通りそのままペニスを奥まで突っ込み射精した
最も彼女が言わなくても外に出すつもりなんてなかった
春香の肉壺から引っこ抜くなんて考えは微塵も出なかった
本能がそうさせたのか心からの本心かわからないが
彼女に種付けできて俺は幸せだった

きゅん♡
しゅん
しゅん

しゅん
しゅん
しゅん

んんん!!



どうした不安そうな顔して
俺とじゃあまり乗り気になれないか？

いえ、決してそのような事は…
ただ、私なんかでプロデューサーがはたして満足していただけるか恐くて…

心配性だな千早は

俺は今すぐ千早の身体を味わいたくてたまらないのに
さあゆつくり脚を広げて



すごく綺麗だよ千早

あ、あの……うううことに慣れてなくてその、どう反応すればよいか……

ただ自分の気持ちに素直になっただけだよ
俺は千早の飾らない総てが欲しいんだ
準備はいいね？

はい、覚悟は出来ています

いつでも……来てください



スレンダーな彼女の身体は俺のペニスをなんなく受け入れ
うねる膣肉が容赦なく締め付ける

どうだ気持ち良いだろ千早

は、はい……こんなに幸せな気持ちになれるなんて……
私を抱いてくれてるのがプロデューサーだからでしょうか
私はどうなつても構いません
このままプロデューサーの思い通りに私の肢体を犯してください



よしイクぞ！
子宮まで届け！

うぐ
うぐ

うぐ
うぐ

彼女の膣奥まで届くよう深く挿入し濃い精液を注入する
いつも美しい歌声を披露する歌姫は
ただ絶頂に言葉にならないあえぎ声を出し悶絶していた



はあ、はあ、ありがとうございます...プロデューサー
こんな気持ち、きつとプロデューサーとでなければ生まれなかったと思います

こちらこそすごく良かったよ
またしような

そう言うともう次の情事を期待したのか歌姫はこちらを見つめて微笑んだ

カズ

二人っきりのホテルの個室
美しい衣装に身を包んだ天使は俺を誘惑した

プロデューサー、見てください
もうこんなに欲しがってて我慢できないんです
ダメダメな私ですけど…え、えつち…しててください

そう言って自ら開帳した陰部からは既に蜜液が漏れ出していた
こんなにせがまれては断るわけにもいかない

フハッ

はうっ!

プ、プロデューサーのがこんな近くに……
もう幸せすぎて、もしかしたらこのまま死んじゃうかも……
いえ、プロデューサーとえっちするまでは生きておきますうー!

こうして亀頭で小陰唇をいじくるだけで愛液が溢れ出してくる
こんなにも期待されると男冥利に尽きるといふものだ

アチ

ググッ

はう、プロデューサーのおちんちん、子宮まで届いてますう
プロデューサー、私のおまんこ...どうですか？ちやんと出来てますか？

ああ、もちろんがつちり食らい付いて離さない
雪歩らしいすけべなおまんこだよ

絡みつく分厚い膣肉を押しの子宮口をノックする度に
淫らな天使は歓喜にたあえぎ声を聴かせてくれる
彼女の膣の温もりは最高の刺激へと導いてくれる

ズッポ
ズッポ
ズッポ



もう駄目だっ

きゃあめっ!?

たつぷりの愛液と膣肉に塗れたペニスはたまらず射精してしまう

こうなってしまうてはもう止まらない

彼女の小さな肉体の中で暴れながら白い液体を吐き続ける

最初はびっくりした彼女も膣内では出されたのを理解したのかむしろ望んでいたのか
すんなり受け入れていた

おっぱい
おまんこ



ふふ、プロデューサーのおちんちん…まだ中でビクビクしてますう…可愛い♪

あまりにも気持ち良くてな
無断で中出ししてしまつてすまない

そんな、いいんです…
ちんちくりんな私でもプロデューサーを気持ち良くさせてあげれて
なんだか自信がついたかも…

ク
ク



あん…
プロデューサーのえつちな汁が溢れてきちゃいました
もったいないですう

白く細い指で己の性器を弄る様は凄く妖艶に見えた

卑猥な音を立てながら彼女は幸せそうに身をくねらせていた

…あ、あの、その、わ、私、取り柄もない、こんな私ですけど…

また相手してください

きつとプロデューサーと一緒になら、きつと私、ずつと幸せですから

ググ

リキ

おやあーんっ



えへへ、プロデューサーさん出しちゃったんですか？
今の顔、かわいい♪

プロデューサーさんとのえつち、とつても気持ち良かったです♪
もう最近ではプロデューサーさんの顔を見てるだけできゅんってなつちやうんです
今だつてほら、おまんこがきゅんって

今度は私だけじゃなくてスライム、カーバンクルの三バ…じゃなくて
ユカイなアイドルトリオで勇者さんの子種、いっぱいもらつちやいますから
覚悟してくださいね♪

ヒュル
カッ